

授業科目名		担当講師名		対象学年	
統合演習 I		長井 安代 学内教員		2年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
演習	1 (30)	2年教室 看護実習室	後期	不定期	不定期
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	事例の対象に対し、複数の看護ケアを優先順位や各年齢を考慮し、患者の状態、状況にあった援助計画の立案、演習を実施する。				
到達目標	これまでの学習の中で修得した、各看護学で学んだ知識、技術を統合し、対象の状態に応じた看護を原則に基づいて正確に実践する能力を養う目的とする。				
事前学習					

授業計画

No.	授業内容
1	事例の提示 小児、老年、成人 2事例の計4事例
2	GW: プレゼンテーション資料作成①事例の発達段階、病態生理、症状、検査、治療、看護②関連図③援助計画
3	プレゼンテーション
4	各グループの発表、全体討議
5	4事例について、各グループが立案した計画書をもとに技術練習を実施
6	し、計画の修正を行う。
7	事例1小児: 3歳 男児 気管支喘息 吸入・シーネ固定の交換実施
8	事例2老年: 85歳 女性 右被殻出血後遺症(左片麻痺・構音障害・嚥下機能障害) 口腔内・鼻腔内吸引、経鼻経管栄養を実施
9	事例3成人I: 52歳 男性(女性) 心不全 酸素投与・膀胱留置カテーテル挿入・心電図モニター装着
10	事例4成人II: 56歳 男性 肺炎・MRSA 気管切開 ガウンテクニック、口腔ケア、気管内吸引
11	修正案をもとに、制限時間20分内で評価目標を達成できるようにグループごとに演習発表の練習・検討を実施する。
12	
13	
14	事例の技術について 演習発表と検討会 各グループから発表者1名
15	技術試験 1名につき、4事例中2事例の試験を実施
履修上の要件	
テキスト、教材、参考書	系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護技術 I、II 医学書院 看護技術プラクティス 学研
成績評価の方法	技術試験
備考	